

わおん 通信

2023
秋号
vol.50



特集
いまいちど考える我が家の「断熱」

CONTENTS

P2 — P3

親子参加で、夏休みエネルギー工作
真夏の夜の“食”マルシェ
4年ぶりの紀の川市民祭り2023出展
はじまっています「脱炭素経営相談」

P3 推進員ノブくんの
ああしたら、こうなった⑦

P4 — P5

いまいちど考える我が家の「断熱」

P6 県情報

「環境学習アドバイザー派遣事業」

P7 推進員さん訪問記④③

P8 INFORMATION



刺すような日差しが続く7月、夏休み中のイベントとして、推進員養成講座が開催されました。内容は、親子を対象としたエネルギー教室で、防災アイテムとしても注目されている「ソーラークッカー」づくりに挑戦しました。推進員養成講座

親子参加で、夏休み エネルギー工作

2023年7月30日(日)
第20期推進員養成講座
和歌山県情報交流館センターBig・U

【県センター】

は、これまでは主に現役の推進員を対象としてきましたが、今後は新たな推進員の仲間づくりの機会として気候変動に興味関心のある内容を企画していきます。今回の講師は、推進員の幾島浩恵さんと、普段から上富田町の学童施設で防災をキーワードにしたワークショップを行っています。イベントがスタートすると、幾島さんからソーラークッカーが防災にどのように活用できるかのお話があり、次いで作り方の説明に進みました。集まった10名の親子らは、寸法どおり慎重に段ボールをカットして形を作り、内側にアルミホイルを貼りました。完成後は、水を入れた黒塗りのアルミ缶を持って、会場の屋上へ。太陽の向きを考えながらそれぞれ手作りソーラークッカーにアルミ缶をセットしました。調理の間、県センターの白井事務局長からエネルギーの話聞き、化石燃料を上手に減らす工夫を学びました。その後再び屋上へ！果たして結果は：この日はあいにく薄曇りの天気だったため、約30分間では水温の上昇はわずかなものでした。別途用意した直径1.5メートルの巨大ソーラークッカーに仕込んでおいたポットも弾けぬまま実験は終了となりました。参加した親子は「自宅でもいろいろ実験して、どんな変化が見られるかを確かめ、自由研究の発表につな

真夏の夜の “食”マルシェ

2023年8月13日(日)
てとこと夕暮れ市
和歌山市本町公園

【わかやま食と暮らしプロジェクト】

和歌山市にある本町公園で毎月開催されているマルシェイベント、手しごとや手づくりのモノやコトをコンセプトにした「てとこと市」。今回は夏の真っ盛りの炎天下を避けた夕方開催

げます」と意気揚々と会場を後にしました。



で、アジアの料理や文化がメインテーマでした。日が落ちて気温が和らぐと次第に会場は賑やかな雰囲気になりました。当プロジェクトでは生産者と消費者と直接結ぶことで、顔の見えつなげることを目的に毎月出店しています。この日は県内で農業を営む個性派揃いの集団「紀州農レンジャー」が心を込めて作った南瓜、オクラ、そうめんカボチャ、麦茶、梅干しといった夏にふさわしい野菜たちがブースを彩りました。「懐かしいなあ、そうめんカボチャって見たことなかったよね、ママは昔よく食べたんだよ。」という親子の会話や、「私はこれまで食に関する活動に取り組んできたが最近はまだ積極的に関わ

4年ぶりの 紀の川市民祭り2023出展

2023年8月20日(日)
花火復活 紀人(きつと)君2号大活躍
若もの広場@紀の川市

【エコネットきのかわ】

猛暑の中、エコネットきのかわでは4年ぶり開催の市民祭りにブースを出展し、当会員スタッフ7名で約100名に温暖化防止の啓発を行いました。紀の川市民祭りは平成17年以来、紀の川市が「市民総参加」として交流の場づくり、憩いの場づくりに向けた地域活性化を図るイベントとして開催されています。その中で、当協議会は、環境クイズ出題や地球温暖化に関するパネル展示の他、自転車発電を体験する「紀人(きつと)君2号」を展示しました。今回から子供も届くよう小型の

れる機会が少ないと感じています。」といった女性の声に耳を傾けました。今後も継続的に出店することで豊かな食と暮らしが実現できる活動を続けていく予定です。



自転車にリニューアルし、大人から子供まで多くの人が発電に挑戦しました。この活動のねらいは、日常生活におけるエコ活動の啓発、そして紀人君での発電体験を通してエネルギーをつくることの大変さを実感し、節電の重要性を理解してもらうことです。また、来場者に12月3

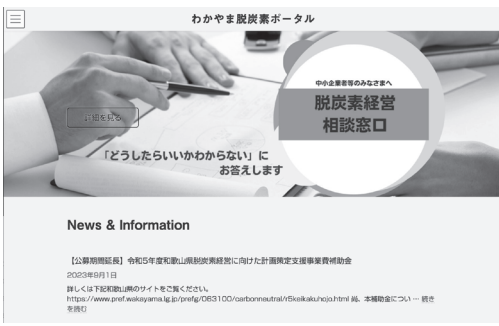
はじまっています 「脱炭素経営相談」

県内企業向けの
脱炭素相談窓口が開設

【県センター・県センター事務所】

日開催の「おもしろ環境まつり2023」のPRチラシを配布、脱炭素のアンケートにも協力して頂き、温暖化防止を啓発しました。

今年4月25日から開設している、県内の事業者を対象とした「脱炭素経営相談窓口」を紹介します。これは「和歌山県脱炭素経営に向けた計画策定支援事業費補助金（産業技術政策課）」と連動するかたちで、県センターが窓口業務を運営しているものです。この窓口では企業の脱炭素化についての基本的な考え方から、補助金の申請に向けたサポートまでを行っています。これまでに、のべ21件の相談を受けています。内容は、脱炭素経営全体に関するものから、「何から始めたらいいのか」といった進め方、販売製品のCO₂排出の見える化、外部評



詳しくは<https://wenet.info/zc/> わかやま脱炭素ポータルで検索

価をどう受ければよいか、といったものまで幅広い質問や疑問にお答えしています。全国で脱炭素化に向けた企業の動きが加速する中、県内の事業者には、動向や事例が気になるところではないでしょうか。現在、県センターでは「わかやま脱炭素ポータル」というWebサイトを開設しており、事業者、自治体、個人向けの案内を行っています。このサイトでは今後、脱炭素についての基本的な認識と行動のヒントについて、個人、事業者、自治体、それぞれが学べるコンテンツの充実を図っていきます。また、県のサイトからは本補助金に関する解説動画を視聴いただけます。

なお、「和歌山県脱炭素経営に向けた計画策定支援事業費補助金」は10月31日まで公募延長しています。

推進員 / ブくんの ああしたら、こうなった⑦

今回は、「梅」の報告をお届けします。梅仕事は、梅干しを作るなど、梅に関連する一連の手仕事を指します。毎年楽しみにしている方も多いことでしょう。私の畑には祖父が植えた梅の木があり、その梅を使用して梅干しと梅シロップを作りました。梅干しは御存知の通り、梅を塩漬けにして、赤しそと一緒に漬け、天日で干したものです。梅シロップは、梅を砂糖で漬け、出てきた果汁を利用するもので、水や牛乳で割って飲みます。どちらも梅を洗って漬けておくだけなので、非常に簡単で、夏には完成します。塩分やクエン酸を摂取するのに適しており、暑い季節の健康維持に役立つでしょう。梅シロップは非常に美味しかったので、毎日楽しんでいましたが、夏本番が始まる前になくなってしまいました。（来年はたくさん作る予定です）

梅の管理を通じて感じることは、梅の木は柿の木と同様に剪定が簡単で、病気にかかりにくく、育てやすい果樹であるということです。柿や梅の木は古い家に植えられているのを見たことがあるかもしれませんが、素人の管理でも



元気に育つ、和歌山の気候に適した木だと思えます。

梅の花にはミツバチをはじめ、メジロや百舌鳥なども訪れます。気候変動や環境の変化により、昆虫や鳥の数が減少している中、蜜源植物を育てることは個人ができる生物多様性を守る取り組みの一つではないでしょうか。おすすめ庭先果樹です、梅の木を一本植えてみませんか。

初夏になるとスーパーにたくさんの梅が並ぶので、来年は梅仕事に挑戦してみたいかがでしょうか。

特集

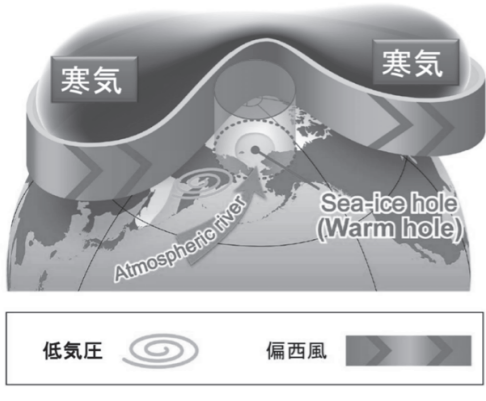
いまいちど考える我が家の「断熱」

どんどん高騰していくエネルギー価格、なんとかする方法はないのでしょうか。今回は快適な住まいづくりに欠かせない「断熱」について特集します。

夏だけじゃない！ 気候変動の影響

2023年は世界が、そして日本各地が豪雨災害に見舞われた年となりました。地球温暖化により慢性的に気温と海水温が上昇したことが影響しているとされており、ますます警戒が必要になってきています。一方、昨冬を振り返ってみると「とても寒かった」という記憶があると思います。これは北極圏の気温が上昇し、雪氷が溶けたこと、寒暖の差が縮まったことで波を打つように変化した偏西風の影響で、北極の寒気が日本に押し出されてきたことが原因とされています【図1】。このメカニズムは2019年に三重大学の研究チームが発表した論文で明らかにされており、今後もこうした強い寒波が襲来する頻度が高まる可能性について立花義裕教授は2023年8月3日放送の報道ステーションで出演・解説しています。

アラスカ沖北極海上空の気象は観測史上最高の気温を記録。これが北極振動が負(北極上空が高気圧)となった一因。



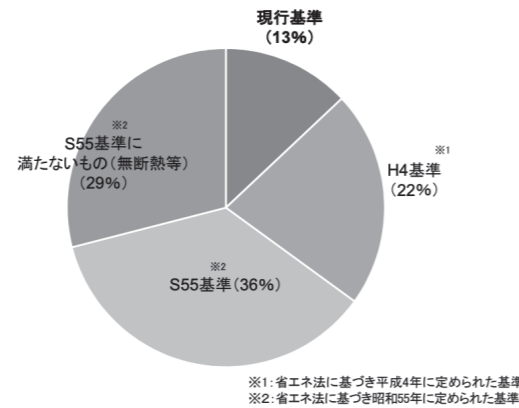
【図1】 遠く離れた地域の異常な気象現象
出典：三重大学大学院生物資源学研究所・立花義裕教授

「日本の家は○を旨とすべし」との歴史

鎌倉時代に書かれた徒然草に「住まいは夏を旨とすべし」という一文があります。大昔は寒くなると暖をとる方法があるけれど、夏は風通しを良くすることで暑さをしのぐことができなかったことから、長らく伝えられてきた考えです。テクノロジーが発達していなかった当時は、食べ物の保存方法についても気を配るために、家を涼しくする必要があったようです。現在は「がまんの暮らし」から大きく変化しました。冷蔵庫やエアコンといった設備の普及で、利用されるエネルギー効率とともに、住宅断熱を進めていくことが求められています。国土交通省が令和4年4月に発表した資料によると、約5000万戸ある住宅ストック(既築の住宅)のうち約90%が現行の省エネ基準に満たない断熱性能とされており、省エネ

ルギー化を含む脱炭素暮らしの点からも改修が急がれています。【図2】

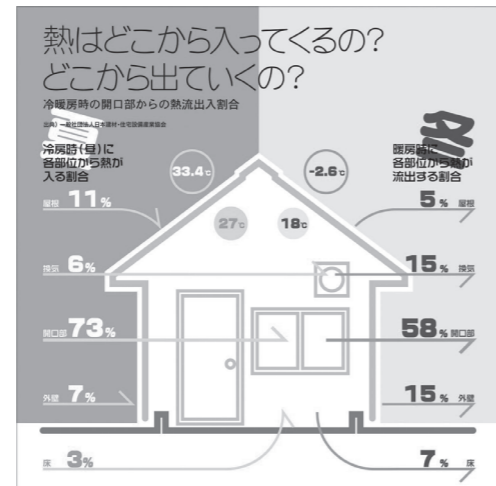
【図2】 住宅ストック約5,000万戸の断熱性能



出典: 国土交通省調査によるストックの性能別分布を基に、住宅土地統計調査による改修件数及び事業者アンケート等による新築住宅の省エネ基準適合率を反映して推計(R1年度)

お家の「非断熱」はどこから？

「非断熱」とは熱が住宅を出入りしやすい状況を指します。熱の出入りが最も大きいのは開口部です。【図3】のように、冬の暖房時では窓から逃げていく熱の割合が58%と最も大きく、次いで外壁や換気となっています。ここで注目したいのは床面です。割合は少ないですが、実際の生活シーンでは、足元から熱が奪われていく経験から、床面の断熱対策の必要性も考えられます。【図3】

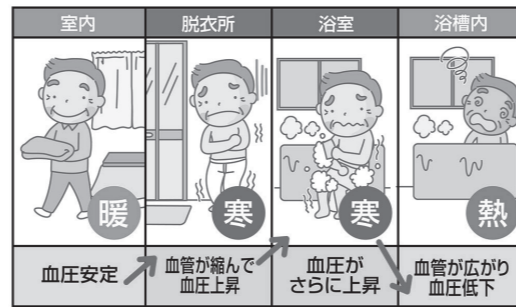


【図3】 熱はどこから入ってくるの？どこから出ていくの？
出典：地球温暖化防止全国センター(一般財団法人日本建材・住宅設備産業協会データをもとに作成)

健康が危ぶまれる？ 寒い家の特徴

入浴中に浴槽で起きる事故、いわゆる「ヒートショック」問題も断熱化推奨の理由のひとつとなっています。政府広報オンラインでは、令和4年11月に公開された記事で、寒い季節、特に高齢者が浴槽で溺れる事故の多さと原因、対策について詳しく解説しています。【図4】で示したように、

室温の温度変化によって血圧の上昇と低下が急激に起こることで一時的な意識障害によって溺れてしまうというものです。



【図4】 なぜ、冬に高齢者の入浴事故が多くなるの？
出典：政府広報オンライン

こうした事故を防ぐためにも、家庭の断熱対策の重要性がますます注目されてきています。

あたたかい家を手に入れる

「暮らし創造研究会」WEBサイトにある「健康で快適な暮らしのためのリフォーム読本(監修: 東京大学大学院工学系研究科准教授の前真之氏)」を元に紹介します。【表5】この本では「中古の戸建てリフォームに注目が集まっていますが、多くの物件では、断熱気密などの「外皮性能」や暖房設備の「省エネ性能」が十分備えられていない」とあります。また住まいへの不満や不安、リフォームを実施した方からのアンケート調査結果に基づき、住みながら低コストでできる『あったか簡単リフォーム』について説明しています。リーズナブルな断熱リフォームは「熱がどこから逃げているかを知ることから」と説明しています。本書では冬の暖房時のシミュレーション結果を元に「窓の断熱から始めては」という提案が書かれています。

	プラン1	プラン2	プラン3	プラン4
断熱箇所	1階の窓	1階の窓、1階の床	2階の天井、1・2階の窓、1階の床	2階の天井、1・2階の外壁、1・2階の窓、1階の床
生活範囲	1階おまとめ	1階おまとめ	家中丸ごと	家中丸ごと
居ながら工事	簡単	可能	可能	難しい
どんな効果？	窓は熱ロスが最も大きい部位なので断熱の効果が大きい。生活範囲をまとめれば1階だけで低コストに。	冷たい床は不快の元。床の断熱を強化して床暖房を敷設すれば少ないエネルギーで足元から快適に!	2階も利用したい人向け。天井も断熱しておけば夏に屋根からの日射熱を防ぐ効果も。	耐震や外装の改修など外壁を工事する人向け。壁まで断熱しておけば新築並みの高断熱も可能!

【表5】 あったかりフォーム4つの断熱プラン
出典：健康で快適な暮らしのためのリフォーム読本(暮らし創造研究会)

おすすめ！ 「窓断熱」の対策3種

最後に、窓断熱について具体的な対策方法についてご紹介します。

対策プラン	[Aプラン]	[Bプラン]	[Cプラン]
適応部材	内窓/二重サッシ	厚手のカーテン	断熱シート
断熱効果	大きい	中程度	そこそこ
価格帯	1万円~20万円	4千円~2万円	1.5千円~3千円

表：県センター調べ

※断熱性能の効果および価格帯はおおよその目安です。住宅の基本条件や施工状況に左右されることが考えられますのであくまで参考値としてご覧ください。

【Aプラン】窓の大きさや導入する材質ごとの価格帯、工事費などによって大きく変わってきます。窓は複層ガラスやガス充填タイプのもの、今ある窓をそのまま生かし、内窓を増設する方法もあります。またサッシ枠を熱が伝わりやすいアルミ製から断熱率の高い硬質プラスチック製に変更するなど、予算に応じて計画できます。

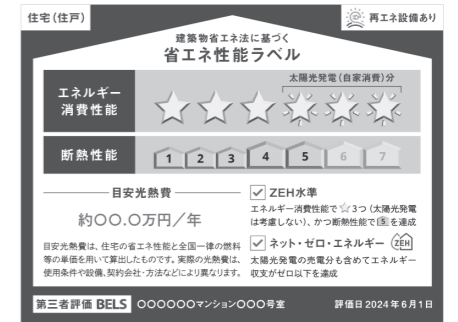
【Bプラン】厚手のカーテンは夏も冬も威力を発揮します。ポイントはカーテンの長さ。床面に少しつくぐらいの丈にすることで、足元から侵入する冷気を減らすことができます。

【Cプラン】窓に直接貼るシート状のものです。お菓子の缶に入っているプチプチタイプから、段ボールのような中空層タイプまでバリエーションが豊富。あらかじめ窓の大きさと枚数を確認して購入し、DIYで作業します。ワイヤー入りの窓ガラスには使用できない場合もあり注意が必要です。

採用する断熱性能で効果は変わります。また、すべての対策を行うことで、さらに効果が期待できます。

新しい「建築物の省エネ性能表示制度」が始まります

2024年4月から始まる制度で、住まいの省エネ性能ラベルが表示されます【図6】。表示内容は「エネルギー性能」「断熱性能」「目安の光熱費」等がラベルにまとめられています。自己評価されたものと第三者評価されたものがあり、住宅を選ぶときの参考情報になります。



【図6】 省エネ性能ラベルの例(戸建ての第三者評価)
出典：国土交通省「建築物省エネ法に基づく建築物の販売・賃貸時の省エネ性能表示制度」ホームページ

さらに本格的な断熱リフォームを考える際は、専門の事業者にお問い合わせみてはいかがでしょうか。

参考文献

- ◆【図1】 遠く離れた地域の異常な気象現象 出典：三重大学大学院生物資源学研究所・立花義裕教授 資料 https://www.mie-u.ac.jp/R/navi/release/files/Rnavi_tachibana_20190418.pdf 日本語資料の基となる英語論文 <https://doi.org/10.1038/s41598-019-41682-4> (Scientific Reports, 2019年)
- ◆【図2】 住宅ストック約5,000万戸の断熱性能 出典：国土交通省住宅局「脱炭素社会に向けた住宅・建築物の省エネ対策等のあり方検討会」資料 <https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001487807.pdf>
- ◆【図3】 熱はどこから入ってくるの？どこから出ていくの？ 出典：一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会データをもとに地球温暖化防止全国センターが作成 <https://www.jccca.org/>
- ◆【図4】 なぜ、冬に高齢者の入浴事故が多くなるの？ 出典：政府広報オンライン <https://www.gov-online.go.jp/useful/article/202111/1.html>
- ◆【表5】 あったかりフォーム4つの断熱プラン 出典：健康で快適な暮らしのためのリフォーム読本(暮らし創造研究会) <https://kurashisozojp/>
- ◆【図6】 省エネ性能ラベルの例(戸建ての第三者評価) 出典：国土交通省「建築物省エネ法に基づく建築物の販売・賃貸時の省エネ性能表示制度」ホームページ⇒<https://www.mlit.go.jp/shoene-label/>

参考リンク

- BBCニュース <https://www.bbc.com/japanese/58431000> 関西テレビ(立花教授出演) <https://www.ktv.jp/news/feature/230724-ijokisyo/> 報道ステーション(立花教授出演) <https://www.youtube.com/watch?v=mqGVhE7N094&t=4875> 三重大学レポート https://www.mie-u.ac.jp/R/navi/release/files/Rnavi_tachibana_20190418.pdf 民生家庭部門の断熱改修普及分析に基づく家庭の脱炭素化に向けた提言 <https://www.jst.go.jp/lcs/pdf/ty2021-pp-07.pdf> 我が国の住宅ストックをめぐる状況について <https://www.mlit.go.jp/common/001318639.pdf>
- 入浴中事故(政府広告オンライン) <https://www.gov-online.go.jp/useful/article/202111/1.html> 暮らし創造研究会 <https://kurashisozojp/energy/index.html> 健康で快適な暮らしのためのリフォーム読本 <https://kurashisozojp/img/effort/reform.pdf>

環境学習アドバイザー派遣事業

●環境学習アドバイザー事業って？

環境学習を推進するため、環境分野の有識者（環境学習アドバイザー）を登録し、和歌山県及び県内の市町村、学校、事業者、住民団体等が実施する研修会、講演会、学習会などに対して派遣する事業です。

●環境学習アドバイザーってどんな人？

昆虫、植物や草木染め、海洋のごみ問題など環境に関する幅広い分野の専門家が活躍しています。

●事業内容について

今年度の派遣内容を2つ紹介します。

実施日：令和5年7月13日（木）

主催者：和歌山市立川永小学校

アドバイザー：有本 智先生

実施内容：講義「ビオトープ」とは何か？

現地調査

主催者の感想：生き物の生態について、現地で実際に昆虫採集や植物採集をしながら、教えていただきました。池づくりの目的や、ビオトープと養魚池の違い、昆虫が集まる庭づくりなどについてお話していただき、子供たちは植物や昆虫にも興味を持ったようでした。また、子供たちの急な質問や要望にも気さくに答えてくださり、子供たちは大変満足していました。今後の学習を進めていくための繋がりを作っていただき、ありがとうございました。

県の担当者より：「校内にビオトープの跡があるので、再生して子供達の学習の場にできないか。」という担当教員の思いから始まった事業でした。有本先生に相談すると快く引き受けてくださり、事業を実現することができました。



実施日：令和5年7月6日（木）

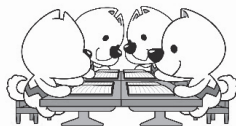
主催者：和歌山県立桐蔭中学校

アドバイザー：平井 研先生

実施内容：講義「SDGsについて」、2030SDGsカードゲーム

主催者の感想：講義の導入ではスライドを使い中学2年生にも分かりやすいように具体的にSDGsの概要を説明していただきました。次に3人1組で1つの国、その国が13カ国で1つの世界、その世界が2つあるという設定で80人が同時にSDGsの体験型カードゲームを行いました。先生の説明とゲームの内容が大変興味深く、生徒たちは時間を忘れてゲームに集中することができました。また生徒たちは積極的にコミュニケーションをとりながら各国のプロジェクトに取り組み、その結果、世界情勢がどのように変化するかを体験しました。その後の振り返りやまとめにより今後の生徒たちの考え方や行動に良い影響を与えることを期待したいです。平井先生には、大変感謝するとともに、来年度以降もお願いしたいと思います。

県の担当者より：桐蔭中学校は、例年、磯観察の授業で環境学習アドバイザーを活用されています。今年度はその事業に加え、新たな試みとしてSDGsについて学ぶ講義を依頼されました。主催者が同じでも同年度で2回まで活用していただけますので、ご活用ください。（学校の場合は、この限りではありません。）



★環境学習を実施されたい団体様は、一度ご相談ください。

和歌山県「環境学習アドバイザー」HP

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/032000/gakusyu/adviser/gaiyo.html>



推進員^{ひよっこ}さん^{〇〇}訪問記⁴³

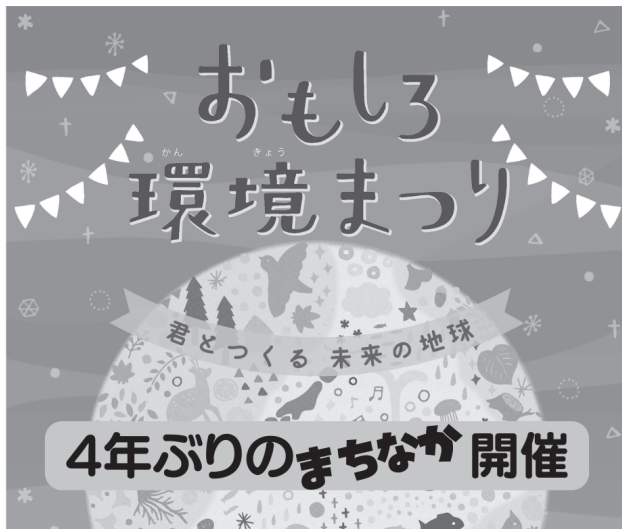
那智勝浦町 高野 康 さん



推進員19期生の高野康さんは、二人兄弟の次男として東京都八王子市に生まれました。子供のころは、野山を駆け回ったり、友だちと秘密基地をつくったりと手の届くところに自然のある環境で過ごしました。中学時代は全国でも有数の成績を収める卓球部に所属し、汗を流す日々を送りました。また、高校の文化祭では「歌舞伎」をプロデュースし、仲間とともに花道を作ったり、知り合いを伝って歌舞伎関係者からカツラや衣装を借りたりして、本番当日にはプロが見学に来るほどに本格的な舞台をつくりあげました。スポーツも文化も手を抜かずに取り組んだ経験は、今のご自身の原型となったそうです。そして電気通信大学に進学し、高校時代までとは打って変わって自由な学生生活に突入します。ウィンドサーフィンのサークルに入り、自然と一体になる日々を過ごしていました。また数々のアルバイトを経験し、最終的には居酒屋で店長と同等の役割を任されていたのですが、ある時ショッキングな出来事が起こります。それは勤務する店の近くに居酒屋チェーン店が進出し、廃業に追い込まれたことでした。それまで奔放な大学生活を送っていましたが、「店を倒産から救いたい！」という使命感をきっかけに、長らく在籍していた大学卒業を目指します。卒業後、選んだ就職先

はユーザー系のSI（システム・インテグレーション）の会社で、営業部に所属しました。同時にITベンチャーの立ち上げにも参画し、日本のインターネット社会の立役者として活躍しました。その後、会社の売却を経て監査法人会社を経験した後コンサルティング業の道に進みました。都会の中心で営業から経営のノウハウまでを学び、激動の業種に身を置き多くの経験を重ねるうちに「もっと若者が自由に活躍できる場をつくりたい」と考えるようになります。やがて「武者修行」という若者育成プログラムに関わるようになり、全国数カ所のうちの1拠点として那智勝浦町での展開をプロデュースしています。そもそも那智勝浦町を拠点とするようになったきっかけは、豊かな産品との出会いからでした。特に色川地区の方々と知り合ってから、自ら「勝手に観光大使」を名乗り、現在も都会に向けて那智勝浦町をPRしています。そんな中、那智勝浦町役場の方との交流をきっかけに推進員の制度を知り養成講座に参加し現在に至ります。高野さんの次なる目標は「SDGsをキーワードに、気候変動や持続可能な社会づくりに向けた多様な人々がコミュニケーションできる場を提供していきたいです」と目を輝かせて語ってくれました。

イベント情報



おもしろ環境まつり2023

「環境」がテーマの体験型イベント
ぜひご来場ください

2023年12月3日(日) 11:00~16:00

場所：みその商店街アーケード(JR和歌山駅すぐ)
〒640-8331 和歌山県和歌山市美園町5丁目5-1



おもしろ環境まつり

公式サイトはこちら <https://omokan.net>

【熟議】第7回 地「救」を考えるシンポジウム 『もったいないキッチン』 映画会開催

2023年11月19日(日) 14:00~(開場13:30)

場所：かつらぎ総合文化会館「あじさいホール 大ホール」
かつらぎ町丁ノ町2454 (役場裏) 連絡先：0736-22-0303

料金：一般：500円(当日：700円) 中学生以下：無料

前売申込：各販売所でチケットの購入またはQRコードから鑑賞予約してください。
かつらぎ町：あじさいホール、KASEDA学習塾(笠田東81-1 ☎22-8040)
橋本市：喜久屋メガネ店(高野口町名古屋1036 ☎42-2772)
九度山町：梅下百貨店(九度山1447 ☎54-2059)
高野町：加勢田石油店(高野山261 ☎56-2118)
QRコードで予約いただいた方は、当日受付で前売料金をお支払い下さい。



お問い合わせ：090-1138-8388・kurois603@yahoo.co.jp(黒井)

主催：伊都・橋本地球温暖化対策協議会(エコランドいと・はしもと)

共催：かつらぎ町・橋本市・九度山町・高野町・和歌山県地球温暖化防止活動推進センター

和歌山県地球温暖化防止活動推進員・募集しています!

地球温暖化のことを知り一緒に活動する方を募集しています 詳しくは下記まで

和歌山県HP「和歌山県地球温暖化防止活動推進員」

URL <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/032000/ontai/suishinin.html>



県センター通信

現在、県センターでは新たな取組を進めています。今回特集しました「断熱」について県内の高校生とともに「空き家断熱プロジェクト」を進行しています。生徒らは、まちの現状や課題を共有するところからスタートして、断熱の基本を学んで寒い家を暖かく過ごせるように改修体験する予定です。自らが感じたことを踏まえて空き家の利活用に関わる社会実装にチャレンジしていきます。今後この内容は県センターのWEBサイト等でもお伝えしていきます。ぜひご覧ください。

